

## 女性医師の窓

## 開院2年目を迎えて

しばた眼科クリニック 柴田 奈央子

この度、歴史ある「女性医師の窓」のコーナーへの執筆のお声かけをいただきありがとうございます。開院以来、皆様の支えのお陰もあり、今年6月で2周年を迎えました。河北郡市医師会の皆様にも温かく迎えていただき、新規個別指導では丁寧にご指導をいただきとても有難かったです。開院後一番の大きな出来事としては、半年が経過した時に能登半島地震を経験したことです。大きな揺れでしたが、幸いクリニックの地盤は頑丈で、建物の被害も最小限だったことに胸を撫でおろしました。地震の時の仕事始めは、スタッフの元気な姿を見ることができましたが、不安も大きく、毎日頭上を飛び交う自衛隊のヘリの音を聞きながらザワザワした気持ちで始まったのを覚えています。

日々の診療については、患者さん一人一人に丁寧な問診と説明をし、患者さんにとって最適な治療が安全にできるように心がけています。一人一人に時間をかけられるのも夫婦2人で開業した強みだと思うので、これからも丁寧に接していきたいと思っています。

女性医師の窓のコーナーということで、眼科女医としての生き方を振り返ってみると、なんとなく思い描いていた将来像としては、結婚して子供が産まれて、子育てしながら働いて、開業してからも母に子守りも頼みながら仕事半分、家庭半分くらいで両立するのかなあと漠然と描いていました。しかし、私たちは子供に恵まれなかったので、今は夫婦2人と猫2匹とで気ままに過ごしています。今ではその分、仕事に打ち込んで患者さんのためになっているのであれば、それが使命なのかなと思って日々過ごすようになりました。

プライベートでは、夫婦二人とも無趣味なので特に取り組んでいることはないのですが、二人とも職業柄か首肩凝りがひどいので、週末には、平日に溜め込んだ疲れを癒すようにマッサージ店を巡り、美味しいものを食べるのが日課になっています。このままだと体重と体調が心配なので、少し余裕が出てきたら身体を動かすような趣味も持つようにしたいです。

取り留めのない話となりましたが、開業して2年、慣れないことも多く試行錯誤しながらの日々ですが、今後も精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。